

各 位

2023年12月19日  
株式会社天夢人

博物館、神社、史跡、作刀地……、刀剣聖地めぐりに役立つ一冊。  
刀剣ファンブックス 014『名刀ゆかりの地案内 刀剣聖地巡礼』発刊

インプレスグループで鉄道・旅・歴史などのメディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山手章弘)は、2023年12月19日に、刀剣ファンブックス 014『名刀ゆかりの地案内 刀剣聖地巡礼』を刊行いたしました。



ゲームから始まった刀剣ブームで各地の刀剣展などは相変わらず人気です。それら全国に点在する名刀ゆかりの地を紹介する案内本です。名刀を所蔵する博物館や神社をはじめ、刀剣や刀工ゆかりの場所や史跡、碑、作刀地なども紹介しています。

例えば江戸(東京)は、かつて将軍家のお膝元であり、諸藩の屋敷なども置かれたため、お抱え工と呼ばれる刀工らが全国から集められ、刀剣の生産・物流の拠点となり刀剣文化の中心地として発展しました。現在ではその痕跡を見ることは難しいですが、新選組で有名な虎徹の鍛冶場が置かれた上野不忍池付近や、坂本龍馬も所持したと伝わる名刀を

鍛えた土佐藩の名工・左行秀の鍛冶場があった深川・下屋敷跡に立つ碑、幕末の人気刀工・清麿の墓がある寺などが点在しています。それらのゆかりの場所を紹介するほか、全国の刀剣・刀工を祀る神社や名刀を所蔵する博物館などの見どころをエリア別に解説。刀剣や刀工の歴史に触れ、作られた時代に思いを馳せつつ、いわゆる聖地ともいえる場所をめぐるのに役立つ一冊です。

## 【内容見本】

### ◎五箇伝の里・ゆかりの地へ

冒頭では刀剣の里として知られる五箇伝(ごかでん)ゆかりの地を案内。山城伝(京都)や備前伝(岡山)ほか、土地土地の刀剣の歴史とともに解説します。

五箇伝の里へ① 山城伝(京都)



葉田神社の末社である鍛冶神社。鍛冶職の祖という天目一朗神と、三条宗近、葉田口吉光の二人の刀工が祀られている。

### 平安京に伝わる 山城鍛冶の歴史を探る

日本各地の日本刀産地のうち、五大刀工流派のことを「五箇伝」と呼ぶ。いずれも古刀期に日本刀を生産し、それぞれの作風が見られる。本項では、大和伝、山城伝、備前伝、相州伝、美濃伝の五箇伝を探る。まず、日本の中心地であり続けた山城国、平安京を訪ねてみよう。



山城鍛冶発祥の地・葉田口に立つ葉田神社(P108参照)。摂社の北向稲荷神社は三条宗近ゆかりの雷丸稲荷を祀る。(写真/葉田神社)

羽上皇の御番鍛冶に選ばれたと伝わる名工だ。

一般的には、宗近の跡を子もしくは孫といわれる吉家が継ぎ、三条派として作刀が続けられる。

また、宗近の孫といわれる兼水が、拠点を三条から五条に移して、その子・国永とともに作刀。その流れを組む一派は五条派となった。

平安時代末期から鎌倉時代初期には、国家を祖とする粟田口派が登場する。国家の子の国友、久国、国安の兄弟は、後鳥羽天皇の御番鍛冶に選ばれたと伝

幾多の刀工集団が発展した京延暦13(794)年、桓武天皇により平安京が築かれ、国名は山城国と改められた。以来、平安京は、政治、経済、文化の中心地となっていく。朝廷は全国各地を武力により支配したことから、武士集団が形成される。それに応じて平安京でも刀が作られるようになり、時代を追うごとに歴史に残る名工が登場する。

一条天皇治世の永延年間(987-89年)頃、名刀「三日月宗近」の刀工といわれる三条宗近在現れる。もともと宗近は室町時代の謡曲「小鍛冶」にも詠われる伝説的な存在。一説に保延年間(1135-41年)に実在したとする

御番鍛冶とは、後鳥羽上皇の命により院に勤めた刀工のこと。鎌倉幕府が成立すると、執権・北条氏を中心とする鎌倉の武家政権と朝廷を中心とする京の公家政権による二頭政治の状態が続いた。そこで、後鳥羽上皇を中心とする朝廷は鎌倉に対抗すべく各地から名のある刀鍛冶を招聘し、一カ月交代で鍛刀させたのである。ちなみに、久国は番鍛冶奉行を務めたと伝わっている。

粟田口派の刀工では国綱や国吉も知られている。そして、国吉の弟子といわれる光は「骨喰藤四郎」や「薬研藤四郎」などを作り、通称・藤四郎としてとくに有名だ。鎌倉時代初期には、綾小路定利を祖とする綾小路派も登場。さら

### ◎名工ゆかりの地／江戸&全国編

名刀をつくった名工たちのゆかりの地を紹介。作刀地や墓所、史跡や銅像など、江戸(東京)と全国に分けてそれぞれ案内します。

## 名工ゆかりの地

江戸編

江戸時代、幕府のお膝元だった江戸には多くの刀工が集まり作刀した。現在も残る名工たちのゆかりの地を探访する。



今も江戸時代の面影が残る人形町。繁華が絞書された旧吉原の遺跡があった。

相州伝の名工・正宗に見聞連えられたほどの腕前だが、本人は「正宗」ときに間違えられるのは心外だ」と悔しがったというエピソードが残っている。

「ひじき四」とよばれた独特の鍛え肌を編み出し、長曾祿庵とともに新刀の双璧といわれたが、正保3（1696）年に遊郭・旧吉原で謎の斬死を遂げた。

注斬りだったことから、後年、妖刀説や柳生家殺害説などさまざまな憶測を生んだ。

### 越前康継の作刀地

●江戸新刀の開祖の一人  
●越前康継の作刀地  
●山形県米沢市

越前康継は江戸新刀の開祖の一人に数えられる名工。近江国下坂（滋賀県米沢市）の刀工の家に生まれ、のちに越前北（山形県米沢市）に移り、徳川家康の次男・結城秀康の御抱工となる。

その後、家康にも召し抱えられて将軍家の御用鍛冶となり、「康」の字を拝稱して康継に改銘。さらに銘に「康」の字を許されることとなる。

最高の名工を幕府から受けた。康継は、家康の命で大坂夏の陣で焼失した栗田口吉光の「一期一振」や相州貞宗の「獅子貞宗」、三条小鍛冶宗近の「海杉名宗近」など豊臣秀吉かりの名刀の再刀や写しを行った。また、当時は高価だった南蛮鉄（輸入鉄）を使った作刀でも知られる。

2代・康継も2代将軍・秀忠から重用され

### 小野繁慶殺害の地

●虎徹とともに新刀の双雄  
●田原藩（今中央区大塚町周辺）

三河国（愛知県田原市）の出身。代々の鉄砲鍛冶の家生まれ、江戸で修業していき、大御所となった家康の駿府（静岡県静岡市）入りに伴い、師の継承を受けて鉄砲鍛冶として随行した。

家康の死後、秀忠に呼び戻され、鉄砲町に住み、幕府お抱えの鉄砲鍛冶となったが、のちに刀鍛冶に転身。康継と同様に幕府の御用鍛冶となった。

### 和泉守兼重・上総介兼重の作刀地

●剣豪が認めた斬れ味  
●津藩藩主兼重（兼田園田）

寛永年間（1624～1644）と寛文年間（1661～1671）になる、江戸には諸国から多くの刀工が集まるようになった。康継、繁慶に続くそれら次世代の刀工たちのリーダー的存在だったのが和泉守兼重と上総介兼重だ。兩人とも伊勢津藩藩主の御抱工だったため、かつては同一人物とされていたが、今日では親子または師弟関係だっ



和泉守兼重と上総介兼重が仕えた藩主の隠居所があった岡田橋北詰。

## 名工ゆかりの地

全国編

刀剣ファンの聖地である全国各地に残る史跡や墓所など、名工たちのゆかりの地を紹介する。

### 仙台国包の墓

●善導寺（宮城県仙台市若林区新寺2丁目）



善導寺にある仙台国包とその一門の墓。国包は伊達藩御抱工として後代まで続いた。（写真/仙台市教育委員会）

東北を代表する新刀期の名工。慶長19（1614）年、藩主・伊達政宗に召し出され、京での刀工修業を命じられる。元和5（1619）年

### 三善長道の墓

●法善寺（福岡県宗像市重町8-1）

会津刀匠の第一人者であり、江戸時代屈指の名工の一人。三善家は四国松山から、寛永4（1627）年に加藤嘉明の移封に従って会津に移住し、三善家3代目の藤四郎から長道を称した。初代長道は刀工として天性の資質があり、若くして「陸奥大掾」の官位を受領

する。その鋭い斬れ味から「会津虎徹」とも称された。



菩提寺である会津若松市の法善寺にある三善家の墓。

### 山浦真雄宅跡

●長野県東御市滋野甲193-9

源清麿の生家跡に残る元鍛冶場だった土蔵風の納屋。若き日の清麿はこの場所で兄・山浦真雄とともに刀を打った。清麿ファンにとってはまさに究極の聖地だ。清麿より歳年長であった真雄は、この場所で清麿に作刀の手ほどきをした。兄弟で合作した脇指が現存



長野県東御市に残る山浦正雄・源清麿兄弟の生家跡。（写真/東御市教育委員会）

◎名刀ゆかりの地案内・エリア別

名刀を所蔵する全国の美術館や博物館、刀剣・刀工ゆかりの神社などをエリア別に紹介。

**宮城県**

## 仙台市博物館

Sendai City Museum

政宗の「太刀 無銘 銅国行」など所蔵



**主な所蔵刀・ゆかりの刀剣**  
太刀 無銘 銅国行(来国行)  
脇指 銘 奉納巨刀一腰 奥州宮城郡仙台藩 東照宮御玉前 明暦元年四月十七日(安定)

**DATA**  
住所 宮城県仙台市青葉区川内26 電話 022-225-3074  
営業 9:00~16:45(入館は30分前まで)  
休館 ※2024年3月31日(予定)まで大規模改修工事に伴い休館中  
料金 一般・大学生460円、高校生230円、小・中学生110円(特別展は別に定める)

政宗の弦月形前立兜も人気  
仙台市博物館は旧仙台藩主の伊達家から関連史料・文化財約1万3000点の高齢により1961(昭和36)年、仙台城(宮城三ノ丸跡)に開館した。現在の所蔵品は約10万点。兜に付く金色の細い月形前立が特徴の伊達政宗所用「黒漆五枚前立足」、豊臣秀吉所用で政宗が拝領した「銀伊予札白糸威丸足」(共に重要文化財)などが人気を集めている。刀剣類では、政宗鷹匠の「太刀 無銘 銅国行(来国行)」や、瑞巖寺所蔵の脇指と同時期に富田大和守安定と弟子の安平・安家が合作、仙台東照宮に奉納された一脇指 銘 奉納巨刀一腰 奥州宮城郡仙台藩 東照宮御室前 明暦元年四月十七日、徳川8代将軍・吉宗から拝領した「太刀 銘 長谷部 因信」などを所蔵する。

**宮城県**

## 瑞巖寺宝物館

Zuigan Temple Museum

伊達政宗の二十回忌に奉納された脇指



**主な所蔵刀・ゆかりの刀剣**  
脇指 銘 奉納巨刀一腰 云々/奥州江城住人富田大和守安定云々/切物奥州仙台住 家定作

**DATA**  
住所 宮城県宮城郡松島町松島字町内91 電話 022-354-2023  
営業 開門8:30~閉門1-12月15:30、2-11月16:00、3-10月16:30、4~9月17:00  
休館 無休  
料金 拝観料 大人(大学・各種学校・高校生含む)700円、小人(中・小学生)400円

金梨地の豪華な格も付属  
「瑞巖寺」は正式名称を「松島青龍山瑞巖(内福)寺」とい。臨濟宗妙心寺派の禅宗寺院。9世紀初頭に創建された天台宗延福寺が始まりと伝わる。鎌倉時代には臨濟宗へ改宗、寺名を内福寺と改めた。現在の建物は、仙台藩初代藩主・伊達政宗が菩提寺と定めて改称し、1609(徳川4)年に再興工事を完了させた。「本堂」と「庫裡及び廊下」が国宝に指定されている。宝物館は1974(昭和49)年に開設され伊達家ゆかりの品々を多数所蔵する。刀剣では「脇指 銘 富田大和守安定作」が知られ、政宗の二十回忌にあたり、2代藩主・忠宗が廟所(墓所)の瑞巖殿に奉納した。金梨地の格と共に戦後伊達家から瑞巖寺に奉納されたという。

【目次】

- ・刀剣ゆかりの地 MAP
- ・東京都区内刀剣ゆかりの地 MAP
- ・五箇伝と史跡案内
  - 五箇伝の里へ
  - 名工ゆかりの地 江戸編/全国編
- ・東北
  - 一関市博物館/鹽竈神社博物館/瑞巖寺宝物館/仙台市博物館/最上義光歴史館/致道博物館/伝国の杜 米沢市上杉博物館
- ・関東
  - 土浦市立博物館/日光東照宮宝物館/日光二荒山神社宝物館/足利学校/箱根神社/埼玉県立歴史と民俗の博物館/埼玉県立さきたま史跡の博物館/刀剣博物館/永青文庫/東京国立博物館/日枝神社宝物殿/東京富士美術館/塚本美術館
- ・中部
  - 秋水美術館/石川県立美術館/石川県立歴史博物館/真田宝物館/佐野美術館/久能山東照宮博物館/徳川美術館/岐阜県博物館/関鍛冶伝承館

・近畿

桑名市博物館／彦根城博物館／京都国立博物館／北野天満宮宝物殿／粟田神社／豊国神社／建勲神社／愛宕神社／相槌神社／石切劔箭神社／大阪歴史博物館／大阪城天守閣

・中国・四国

備前おさふね刀剣の里 備前長船刀剣博物館／林原美術館／ふくやま美術館／柏原美術館／吉川史料館／毛利博物館／丸亀市立資料館

・九州・沖縄

九州国立博物館／福岡市博物館／佐賀県立博物館／熊本博物館／玉名市立歴史博物館  
館ころろピア／那覇市歴史博物館

**【書誌情報】**

書名:刀剣ファンブックス 014『名刀ゆかりの地案内 刀剣聖地巡礼』

仕様:A5判 144 ページ

定価:2,420 円(本体 2,200+税 10%)

発売日:2023 年 12 月 19 日

全国書店、オンライン書店の Amazon などで発売中。

<https://amzn.to/3ZG000D>

**【刀剣ファンブックスとは】**

「刀剣ファンブックス」は日本刀の歴史や文化をさまざまなテーマで紐解く書籍シリーズです。以下のラインアップが刊行中です。

- ・001『日本刀入門 この一冊で魅力がわかる』「刀剣ファン」編集部 2,200 円(税込)
- ・002『刀装具 新・解体新書』生田享子 2,420 円(税込)
- ・003『日本刀が見た日本史 深くてももしろい刀の歴史』「刀剣ファン」編集部 1,980 円(税込)
- ・004『名刀にあえる美術館・博物館・神社 国宝・重要文化財級の名刀鑑賞を楽しもう』「刀剣ファン」編集部 2,310 円(税込)
- ・005『ビジュアル刀剣用語事典』「刀剣ファン」編集部 2,200 円(税込)
- ・006『戦後日本刀事件史』土子民夫 2,090 円(税込)
- ・007『国宝刀剣』「刀剣ファン」編集部 2,530 円(税込)
- ・008『刀剣一問一答』誉田 優 1,980 円(税込)
- ・009『刀装具 新・解体新書 2』生田享子 2,530 円(税込)
- ・010『写真でわかる刀の見方・鑑賞の極意』松本啓之亮 2,750 円(税込)
- ・011『日本全国名刀ファイル 国宝から郷土の名刀まで』住 麻紀 2,530 円(税込)
- ・012『日本刀ドリル 刀剣知識にチャレンジ』「刀剣ファン」編集部 2,420 円(税込)
- ・013『刀剣名匠列伝 名刀を作った刀工たち』「刀剣ファン」編集部 2,530 円(税込)

**【株式会社天夢人】** <https://www.temjin-g.co.jp/>

2007 年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月 21 日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信して

います。

**【インプレスグループ】** <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

**【本件に関するお問合せ先】**

株式会社天夢人 担当:野口

Tel: 03-6837-4680 / E-mail: [info@temjin-g.co.jp](mailto:info@temjin-g.co.jp)

URL: <https://www.temjin-g.co.jp/>